

再評価【番号9】河川整備課

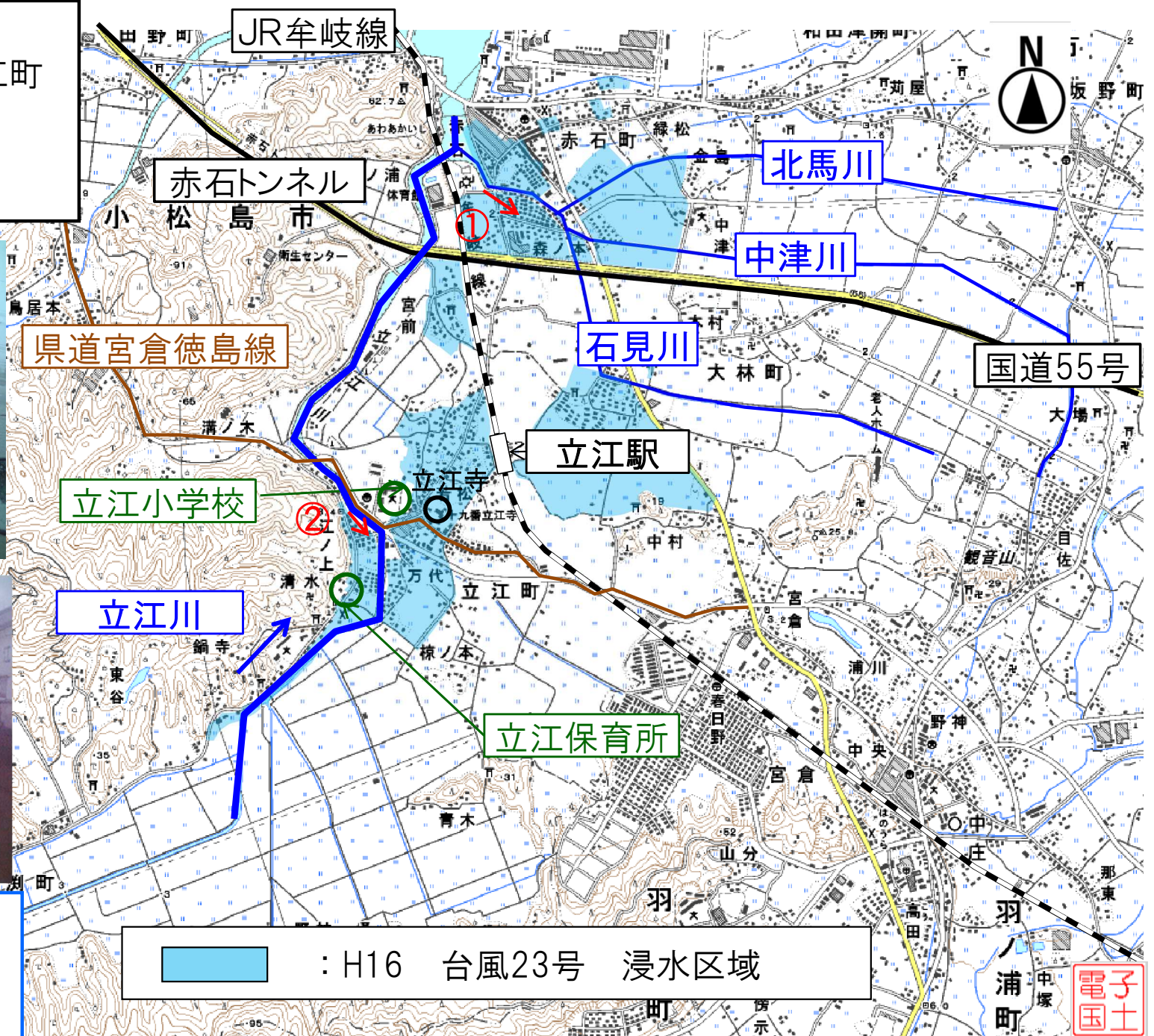
総合流域防災事業
二級河川立江川水系 立江川

1. 河川の概要

二級河川 立江川
上流端 小松島市立江町
下流端 海
流路延長 L=3.5km
流域面積 A=24.4km²



平成16年台風23号
浸水面積：115ha
床上浸水戸数：78戸
床下浸水戸数：162戸



2. 事業概要

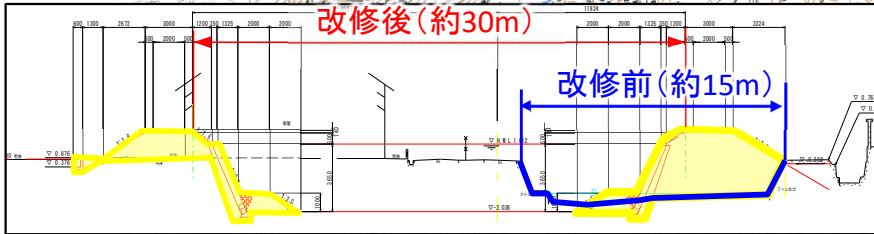
小松島市赤石町～立江町



①

②

施工断面図



凡例

- : 今後の予定
- : R5実施箇所
- : 改修済み

全体事業費

45億円 ⇒ 60億円 (+15億円)

完成時期

令和10年度 ⇒ 令和15年度 (+5年)

...計画規模洪水による
浸水範囲(123ha)

《進捗率》
事業費 : 71%・用地 : 80%



4. 多様な効果

貨幣価値に表れない整備効果

人的被害の軽減

浸水区域内人口	670人
浸水区域内の災害時要援護者数	278人
最大孤立者数	220人

医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

機能低下する社会福祉施設
立江幼稚園 (定員16)

立江幼稚園

→災害発生時の機能維持



防災拠点施設の機能低下による被害軽減

機能低下する主要な防災拠点施設数
立江駐在所

立江駐在所

→災害発生時の機能維持

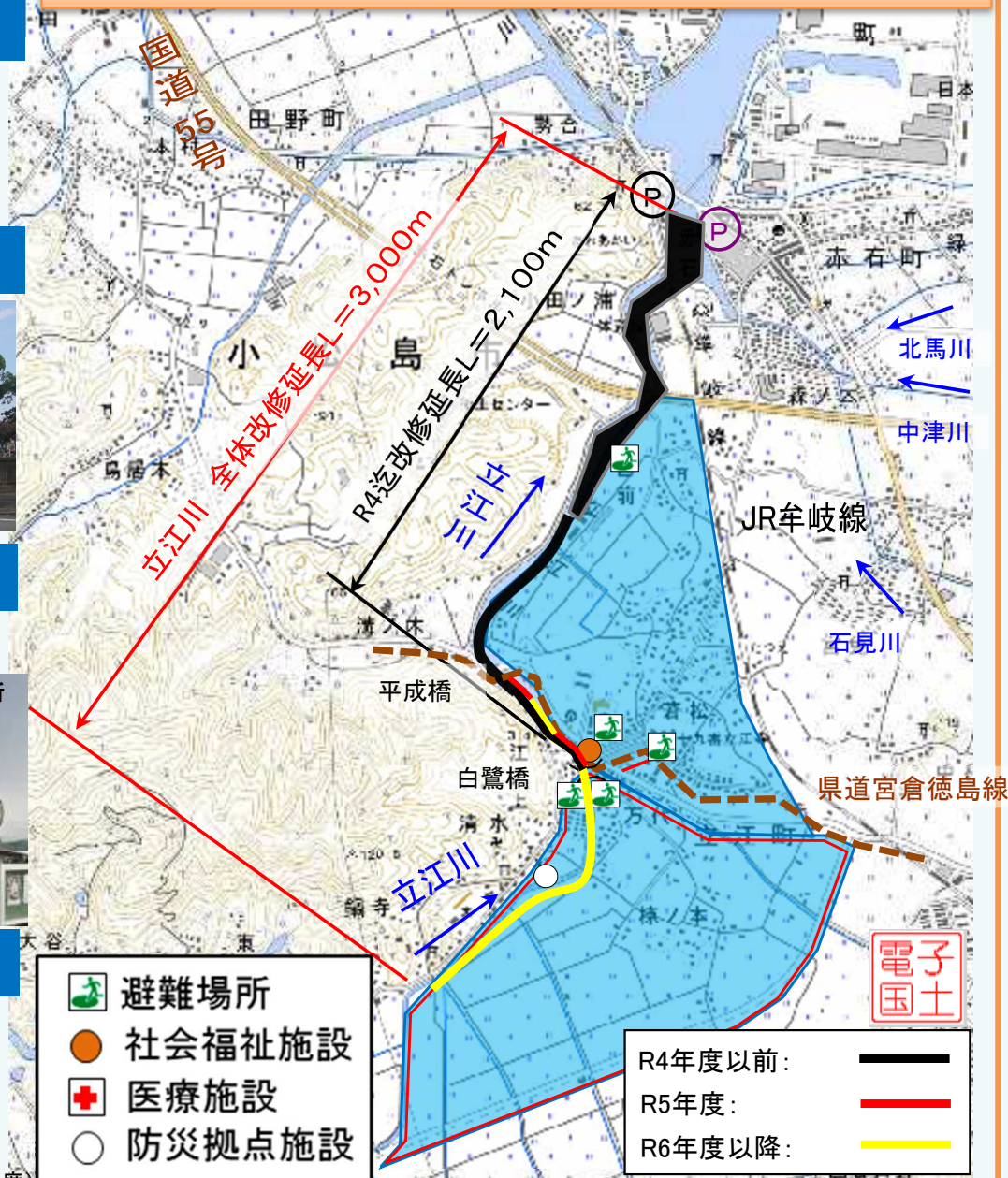


ライフライン停止による波及被害の軽減

電力の停止による影響人口	60人
通信(固定)の停止による影響人口	60人

→住民生活環境の維持

【「水害の被害指標分析の手引き」による便益】



5. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

【治水経済調査マニュアルによるB/C】

費用便益分析結果

『浸水被害防止便益』
総便益B=270.7億円
(現在価値化後)

『事業費』+『維持管理費』
費用C=128.6億円
(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 2.1$$

出水1回当たりの被害額=1,500万円

(交通途絶被害、経済の波及被害等)

貨幣価値に表れない整備効果

【「水害の被害指標分析の手引き」による便益】

人的被害の軽減

- ①浸水区域内人口の減少
- ②浸水区域内災害時要援護者数の減少
- ③浸水区域内最大孤立者数の減少

防災拠点施設の機能低下による被害軽減

- ①機能低下する主要な防災拠点施設数

医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

- ①機能低下する社会福祉施設数

ライフライン停止による波及被害の軽減

- ①電力の停止による影響人口
- ②通信の停止による影響人口

■今後の対応方針 (案)

事業継続